

令和2年度6月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年6月17日（水） 13:30～16:00	
開催場所	早島中学校 多目的室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹 大部桂嗣主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 教育長あいさつ 2 授業参観（早島中学校） 3 議事・報告案件 <ol style="list-style-type: none"> （1）授業参観について （2）新型コロナウイルス感染症対策について （3）GIGAスクール構想の実現に向けて （4）熱中症対策について （5）その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習状況調査の実施について ・「まなびの舎講座」について ・5月教育委員会の会議録について 4 連絡 	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>本日は、学校が再開して初めての授業参観です。まず、校長、教頭、教務主任を紹介します。（3名挨拶）生徒はようやく学校生活に慣れてきて、日常が戻りつつありますが、参観後、お気づきのことを教えていただき、それから会議に入っていきたいと思います。</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>（1）授業参観について</p> <p>教育長 : 今日、中学校の授業を参観いただきありがとうございました。お気づきにな</p>

ったことを教えていただけたらと思います。

栗坂委員：どの授業もきちんとめあてが書かれていて良かった。「有理数と無理数について理解する。」というめあてでは、この時間に生徒が何を理解すればよいのかははっきりしない。2Bのめあては、この時間の学習のめあてがはっきりしていてよかった。これであれば、生徒が何を学ぶのかがはっきりわかってよい。子どもたちは、コロナ対応でマスクをしていたが、クラスによって、エアコンをつけていたり、扇風機を回していたり、窓を開けていたり閉めきっていたりと統一はされていなかった。

教育長：マスクは授業中つけるように徹底している。換気は必ず窓を少し開けてするにしており、エアコン調整をこまめにしていくように指導する。エアコンは学校で統一しているはずなので、再度確認をする。授業のめあての質は大切であり、できていない教員には再度研修で徹底したい。

大森委員：机に伏せている子もいたが、多様な生徒がいるため、先生は一人ひとりの対応が大変だと感じた。

竹井委員：エアコンは必ずかけて、窓は全開にするのが良いと思う。人によって体感は違うので対応は難しいが、統一してはどうか。

黒板に貼り付け式のスクリーンがあるが大変見えにくい。テレビ映りが良いのであれば、テレビを活用してはどうか。

第1理科室の床が浮いて汚れていたように思い、気になった。

教師の言葉遣いも、生徒に近い話し方でとても気になった。

数学で習熟度をしてしたが、数学以外でもクラスを分けているのか。

教育長：今年度は数学だけであり、英語はTTで行っている。習熟度別授業は好評であり、生徒が生き生きと参画している。

確かに言葉づかいはとても気になり、日常から丁寧な言葉や敬語が自然とでてきてほしい。きれいな言語環境をつくってほしいと常にお願している。

授業はパブリックな場なので、言葉づかい、服装、時間を守ることは徹底していきたい。

スクリーンについては、今後はタブレットを使用するようになるのでTVを活用することが増えるであろう。スクリーンのしわや書き込んだ色については消えにくい状況であり、他のスクリーンや白紙を活用している。

竹井委員：習熟度の授業は良いと思う。

ただ、先生が、プリントを渡してもお礼を言わないとか、友達のような話し方の生徒がいる。公の場として、生徒と先生のけじめは必要であると感じた。

それが、教室ではないのか。

クラスによっては、教室をきちんと片付いているところと乱雑なところがあった。きれいな教室環境に、きれいな心が宿る。

教育長 : 習熟や理解の程度で自己選択した、習熟度別授業は大変好評であり、小学校でも習熟度を取り入れてほしいという声も受けている。また、小学校の参観も次回あるが、高学年での教科担任制の授業をぜひ参観してほしい。

それでは、これでよいか。

全委員 : 参観させていただいてよかった。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

教育長 : (説明)

中学1年生は、長期の臨時休業があったことで、学校に慣れるまでに時間がかかったようである。「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」を踏まえて、学校での取組を行っている。発熱や風邪症状がある場合や、コロナウイルスについての不安がある場合については、休んでも欠席とはせず、出席停止としている。また、第2波に備えて、ICTの活用が大変重要になってきており、本町では、小・中学生に個人パスワードを渡して、タブレットドリルを用いて学習を進めるようにしている。

コロナウイルスのおかげで、体調の自己管理能力を身につけることや、ICT学習をいかに進めていくかについて改めて考えさせられた。また、学校再開により、いかに対面で授業できることの幸せや学校のある意義を改めて感じた。こうした学びをもとに、ICTを活用した学習活動について推進していく。行員研修も積極的に進めていき、児童生徒にアカウントを渡して、オンライン学習ができるようにしたい。

部活動については、子どもたちの体力は大変落ちており、体力づくりかた始めている。岡山県大会はなくなったが、8月1日から、3年生の練習の成果を見るために、倉敷・早島・総社で地区大会を行う予定である。

ご家庭には、「新しい生活様式を踏まえた家庭での取り組み」のチラシを配付し、家庭での協力をお願いしている。

綾野委員 : ガイドラインは文科省から出ているものか。

教育長 : 文科省から出ている。

栗坂委員 : 幼稚園児もマスクをしているのか。

教育長 : 幼稚園児もつけている。外で遊ぶときや息苦しいときは、はずしても良いと伝えている。

綾野委員 : ガイドラインは、誰に対してのものか。

教育長 : 行政や学校に対してのガイドラインである。このガイドラインを踏まえて、教育委員会や学校が判断している。また、地域の感染状況によっても判断は変わってくる。日々状況は変化しており、適切な判断をしていきたい。

大森委員 : 4～5月は、市町村によって判断が違っていたのでは。

教育長 : 県立学校は岡山県が判断をするが、市町村立学校は設置者である市町村が判断する。3月は、国から全国一斉の臨時休業のような形になったが、その後は、各市町での判断となった。国は、東京を中心に話を進めることが多いが、これからは、地域の実情に合わせるようにとの指導があった。非日常が日常になった今、新型コロナウイルスと共に生きるために、ガイドラインでは、新しい生活様式を踏まえて、地域にあわせた取組となるようにとしている。

大森委員 : 感染者についてのうわさがネットで一人歩きをしていることがある。

教育長 : 人権を守るためにも、子どもたちが視野を広げて、正しい情報を収集し、適切に対応できるように育てていきたい。早島幼稚園で県の人権教育のモデル校として研究を進めていくとともに、中学校1年生の総合的な学習の時間に、こころの病気(統合失調症)や認知症、LGBTについて、正しい知識・理解を行い、「人権メガネ」をかけて学校や町を見渡して探究活動を行っていくことにしている。人権教育に力を入れたカリキュラムを作成し、教育で、児童生徒の人権意識を磨いていきたい。心の窓は磨かなければいつでも曇ってしまう。感染症対策についてはよいか。

全委員 : 了承した。

(3) G I G Aスクール構想の実現に向けて

教育長 : タブレットドリルについては、小学生・中学生に個人パスワードを渡しているため、家庭学習でも活用している。適応指導教室(ふれあい教室)でも、児童生徒が喜んで取り組んでいる。インターネット環境がないご家庭が2割程度あるので、町立図書館にタブレットドリルを準備し、いつでも活用できるようにしている。児童生徒や保護者から大変好評の声をいただいている。

第2波が来た時も想定して、オンライン学習ができるような環境を整えるために、GSuiteの研究も進めており、全教員が活用できるおうにしたい。

I C T活用について何か意見があるか。

綾野委員 : タブレットドリルということは、パソコンではつながらないのか。

教育長 : パソコンでもつながる。

綾野委員 : 一人一台端末ということで、町がそろえていくようだが、I C Tは、すぐに古くなるため更新が必要である。毎回新しいものをそろえていくと、いつか破綻する。古くなったから廃棄するのではなく、安く売ればよい。

教育長 : 今回は国からの補助が出るが、今後のことも考えていきたい。

高校生は、文房具の一つとして個人で購入していると聞いている。オーストラリアでは小1から個人で購入し、授業で活用していると聞いた。

G I G Aスクール構想についてはよいか。

全委員 : 了承した。

(4) 熱中症対策について

教育長 : 議会では、熱中症対策として、バスを出したらどうか、ペットボトルを配付してはどうかなどの提案があった。新しい生活様式を踏まえたうえで、例年よりも配慮した熱中症対策が必要であると考えている。そこで、PTAの方や管理職との協議をもった。バスについては、一時的な活用は低学年にとって戸惑いも多く、徒歩通学でよいのでは、また、水分は各家庭で準備するおのであり、各自にあった水分を自分で考えて準備させた方がよいとの意見が出た。また、日傘やネッククーラーの使用、ランドセルをできるだけ軽くして登下校する、人との距離を空けてマスクをはずして登下校するなどについては進めていきたいとのこと。校内にミストシャワーの設置やネッククーラーの全児童生徒への配付などのご意見をいただき、その方向で進めている。

綾野委員 : 今は、地面がアスファルトで大変暑くなっている。地域の方には朝夕の打ち水をお願いするなどの協力をお願いするのも良いのではないか。

教育長 : 小学生の低学年は、慣れるまで疲れるのではないかと思う。8月18日から学校が始まるが、1週目は簡易給食とし、24日から通常給食とする。

大森委員 : 保護者の要望も多様になっており、バスやペットボトルの提案も気持ちとしては分かるが、すべての要望にこたえることは難しい。コロナ対応で大変莫大な税金が投入されている。このお金は誰が返金していくのか。対策については、ないよりはあった方が良くかもしれないが、際限がなくなってしまう。家庭でできることは家庭でしていただくのが良いのではないかと思う。

綾野委員 : 熱中症で倒れた場合は、どう対応するのか。

教育長 : 体を冷やす、水分を取るなどの応急処置を行い、同時に救急車を呼ぶようにしている。

綾野委員 : 学校の水は飲めるのか。

教育長 : 1年に1回検査をしており、学校の水は飲むことができると聞いている。熱中症対策についてはよいか。

全委員 : 了承した。

(5) その他

教育長 : 学力・学習状況調査について、今年度は、7月20日・21日に実施することとした。前学年までの学習内容の定着について、分析していきたい。

「まなびの舎」講座について、令和2年度の講座一覧を作成した。健康・歴史・ESDについて学びを深めて30の講座を用意している。興味があればぜひご参加いただきたい。

